

高津区結核通信

令和7年8月発行
高津区役所地域みまもり支援センター
(福祉事務所・保健所支所)
衛生課 感染症対策係
TEL:044-861-3332
FAX:044-861-3308

令和5年(2023年) 日本の結核の状況
新登録結核患者 **10,096人**



結核は過去の病気ではありません

結核は過去の病気と思われがちですが、今でも世界で年間1,000万人が発病している病気です。



令和5年に日本で結核と診断され登録された患者数は**10,096人**でした。全国の新登録結核患者のうち**65歳以上の割合は66.8%**、**80歳以上は全体の42.9%**となっています。

一方、**外国生まれの結核患者の割合は16.0%**と増加が見られており、特に**20歳代において新登録結核患者の80%以上が外国出生患者**となっています。外国出生患者の出生国のうち患者数が多かったのは、フィリピン、ベトナム、インドネシア、ネパール、ミャンマー、中国の順です。コロナ禍を経て海外との往来が増加し、様々な職種で外国出生者の活躍の場が増加する中、入国前後の健診機会や入国後の定期健診がますます重要となってきています。

川崎市での結核の発生状況

令和6年<令和6年1月1日~12月31日>

新登録結核患者 **108人**
うち外国出生患者 **26人**

留学生、技能実習生等の外国出生患者が増えています！

こんな症状があったら要注意

2週間以上続く

咳

微熱

倦怠感



体重減少・食欲不振・寝汗にも注意

咳・痰が2週間以上続いたり、微熱や体のだるさが続く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

早期発見・早期治療が重要です

結核は、重症化して痰の中に菌が混ざるよりも前の段階で早期発見できれば、必ずしも入院隔離の対象ではなく、普段の生活を続けながら通院治療することが可能です。**重症化しない限り、他の人に結核をうつすこともほぼありません。**

結核を発病していても、咳や痰等の症状が出ないケースも多く、治療を始めるのが遅れてしまうことがあります。特に、大半を占める**高齢の患者さんでは典型的な症状がないために発見が遅れることがあり、注意が必要です。具合が悪いと思っていなくても、定期的に健診を受けることが早期の発見につながります。**



①結核の早期発見のために、**年に1回は胸部X線検査**を受けましょう

②2週間以上続く咳等、気になる症状があれば**早めに医療機関を受診**しましょう

～各事業所等での健康管理・健康診断の実施をお願いします～